

名古屋北部民商ニュース

発行：2026年2月9日（月） No.654

名古屋北部民主商工会
〒462-0035 北区大野町3-19
TEL (052)915-8111
FAX (052)915-8114
E-mail jimukyoku@hokubuminsho.st1.jp

民商で確定申告対策はバッチリ！

学習して確定申告の準備OK！

1月26日（月）夕方6時から「西支部新年会&学習会」を居酒屋あすかで開催し、9人が参加しました。はじめに、宮内支部長から、「いよいよ確定申告が始まります。しっかり勉強して、それぞれが自信をもって申告できるようにしましょう」と挨拶。事務局長から、「基礎控除が所得によって変わる」「給与所得控除も変更があるので、給与収入のある人は注意」など、基本点について説明しました。また、「令和8年の税制改正大綱では、令和9年分の申告以降、青色申告特別控除が10万、65万、75万の3つになり、複式簿記でも、書面



提出なら10万の控除になってしまいます」と説明。参加者からは、「電子申告しか認めないような制度、ひどい」「民商の集団申告が減ってしまう」「納税者にどんどん冷たい税務署になっていくね」とわいわい。その後、日本共産党の加藤ゆうきさんが駆け付け、8日投票の選挙の重要性を語りました。「インボイス制度廃止、2割特例・8割控除延長を求める」市議会への請願行動（傍聴）に参加した、安齋さんや宮内さんは、「市議会では、共産党以外どの政党も、私たちの請願についてだんまりだった。私たちの声を届けるのはどこか」「他の市議は黙って不採択の時に起立しただけ」と実感をもって話していました。40代の

愛商連婦人部主催「第8回つなごろうマルシェ」

2月1日（日）12時から、労働会館で「第8回いりゃあせ いこまい つなごろうマルシェ」が開催され、58の出店、参加者約260人余と盛況のうちに15時に終了しました。名古屋北部民商からは、婦人部役員の坪井さん、常任理事の



柳澤さんが手作りの小物、バッグなどを出品。婦人部の安藤恵子さん作成の丁寧に作られた小物も、帰りには在庫が少なくなっていました。柳澤さんのバッグは、素材の良さ（着物生地）、完成度の高さで毎回人気があり、10個が売れ、お隣のブースからも「すごいね」「次は肩掛けバッグを作って」との声が。小物、雑貨のほか、野菜や果物、お弁当、スイーツの出店、他のところでは、「健康マーじゃん」「脳の整体」「健康チェック」など多彩なお店が並び、異業種で集まる民商



1月は多くの役員が行動し10ポイント達成

1月の前半までは、4ポイント。10ポイントの目標をなんとかしないと、と拡大ニュースを連続発行すると、それに応えるように、三島さんが2人の読者拡大を報告。中水流さんも、「尾張旭市の人でもいい？」と1部の拡大。また、常任理事の山口さんが、松本さんと、「僕たちは、対象者がいるところに直接当たりたい。ネットで求人情報を見ると、ヤマト運輸や引っ越し会社など、個人事業者がいることがわかった」と数件を、民商のチラシやリーフをもって訪問。「営業所には、事務の人が常駐しているので、直接会うのはできなかったが、資料を会社に置かせてくれと頼んだら了解してくれた」と報告してくれました。黒川支部長の山田さんは、「皆さんが頑張っているから、僕も1部増やします」と宣言。

柳澤さん（常任理事）も、「兄に」と1部の拡大。「グーグルマップを見て」と来所した男性は、「現在の仕事